

スキンケアの始まりには、石鹼での洗顔がおすすめ！ “弱アルカリ性洗顔(石鹼成分)を活用”する有用性を実証 — マックス化粧品開発研究所・研究発表 —

スキンケア製品やボディソープ、入浴料などの製造メーカーである株式会社マックス(所在地：大阪府、代表取締役：大野 範子)の研究機関、マックス化粧品開発研究所は、弱アルカリ性の洗顔料で洗顔を行うことで、弱酸性の洗顔料と比べて、洗顔後に肌の水分量が高まることを突き止めました。

又、弱アルカリ性洗顔後に、化粧水や美容液などの保湿ケアを行うことで、弱酸性の洗顔後と比べて、より多くの水分の浸透(※)も観測することができました。

この研究により、スキンケアの始まりに“弱アルカリ性洗顔(石鹼成分)を活用”することの有用性を実証しました。

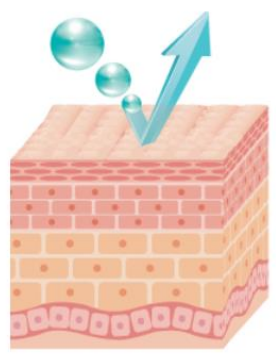
※角質層までの浸透



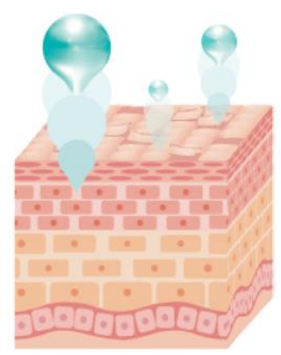
<弱アルカリ性洗顔の概要>

◆肌の水分量を高める理由

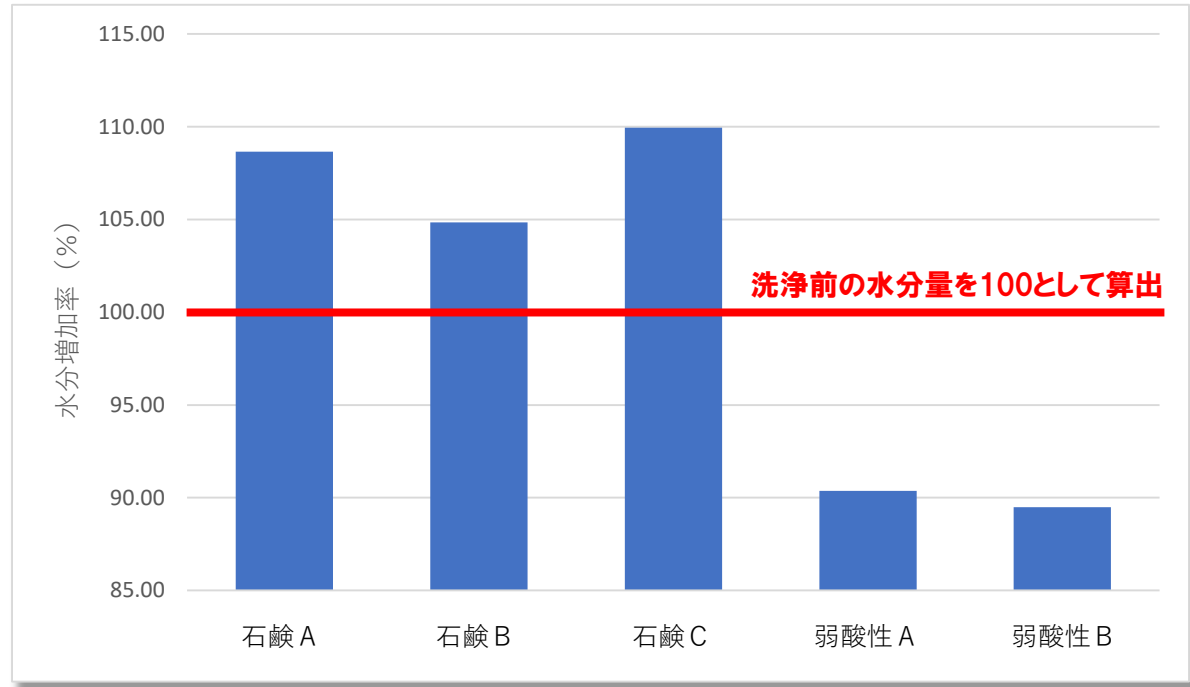
石鹼に代表される弱アルカリ性の洗顔料は、洗顔の際の肌の角質層を一時的に柔らかくすることが一般的に知られています。



弱アルカリ性



◆試験① 「弱アルカリ性洗浄(石鹼)」と「弱酸性洗浄」による、洗浄後の肌の水分量変化



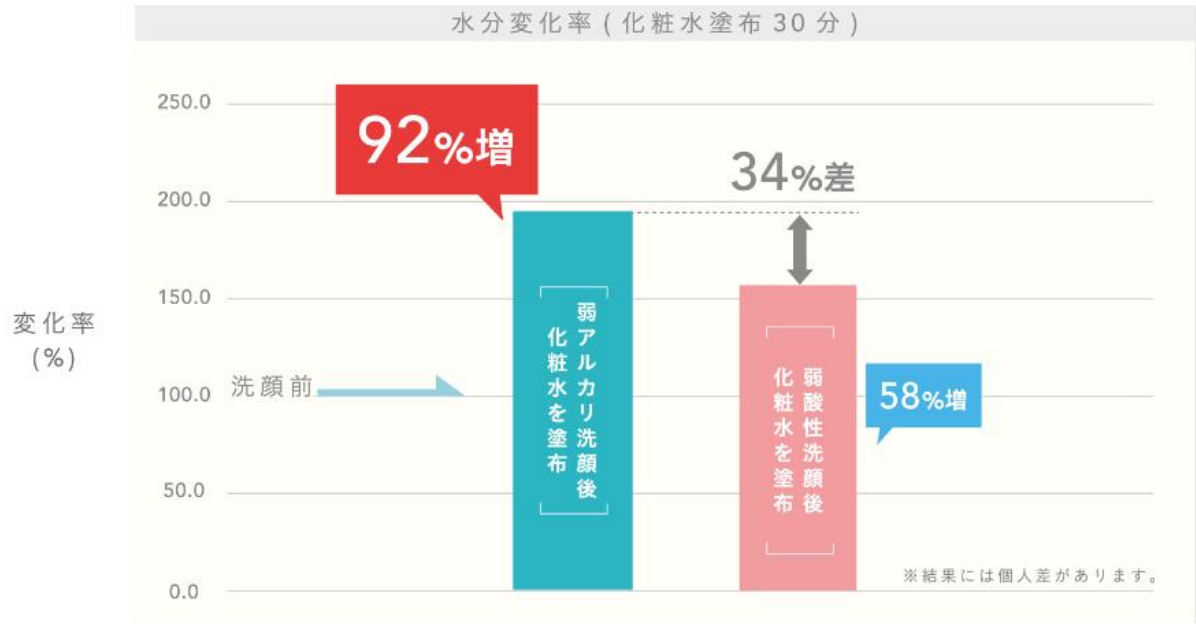
※「マルチ皮膚計測器/キュートメーターDUAL MPS580」を使用

※試験方法: 洗顔フォームを泡立てて、30秒間皮膚を洗浄。その後、洗浄料を水で洗い流して20分間自然乾燥させた後に計測。

※それぞれ10人の被験者で計測。

<弱アルカリ性洗顔後の保湿ケアの有用性>

◆試験② 「弱アルカリ性洗顔後」と「弱酸性洗顔後」での、化粧水塗布による肌の水分量変化



※「マルチ皮膚計測器/キュートメーターDUAL MPS580」を使用

※試験方法: 試験方法①の後、「米発酵液配合化粧水」を塗布して20分間自然乾燥させた後に計測。

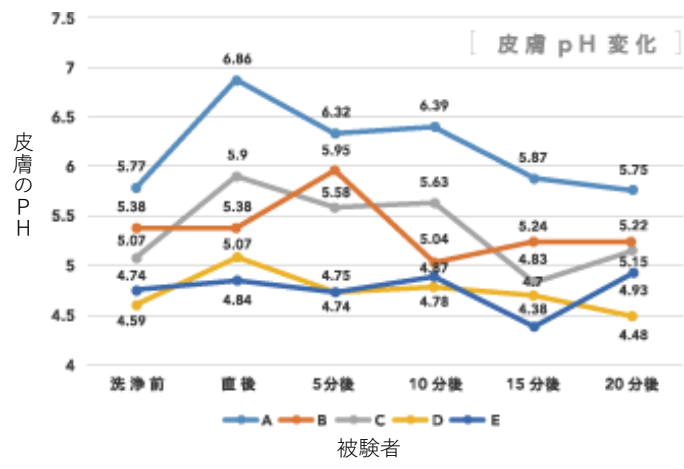
※それぞれ5人の被験者で計測。

<弱アルカリ性洗剤への誤認>

◆皮膚pHの変化

「アルカリ性の水溶液などを皮膚へ塗布し続けると皮膚pHがアルカリ性に変化して皮膚へ悪影響がある」という定説がありますが、弱アルカリ性の洗剤を使用（極端な試験でなく、実使用に応じた試験）することによって、弱酸性である皮膚が極端にアルカリ性へ変化することは、これまでの実験で検出されていません。又、実使用で一時的に中性側へふれた皮膚pHも、20分程度経過すると元に戻ることは、右の図の研究でも証明されており、一般論としても周知の事実です。

※マックス化粧品開発研究所調べ



◆“日本を代表する美人の湯”は弱アルカリ性

日本三大美人の湯として知られる「川中温泉」、「龍神温泉」、「湯の川温泉」は、全て水質が弱アルカリ性です。又の美肌成分日本一に認定された玉造温泉も、弱アルカリ性です。日本を代表する美人の湯は、全て弱アルカリ性なのです。



<株式会社マックスについて>

本社：〒581-0084 大阪府八尾市植松町2丁目9番29号
 代表者：代表取締役社長 大野 範子
 創業：1905年(明治38年)
 設立：昭和22年10月1日
 資本金：2,500万円
 Tel:072-994-5050(代)
 Fax:072-994-4531(代)
 URL: <http://soapmax.co.jp/>

事業内容：一般化粧石けん・特殊高級化粧石けん・贈答用化粧石けん・薬用石けん(医薬部外品)・液体石けん(ボディソープ)・キャラクター化粧石けん・業務用化粧石けん・入浴剤(医薬部外品)・液体洗剤(シャンプー・リンス)などの製造・企画・販売。

マスコミの方のお問い合わせ先	お客様のお問い合わせ先
株式会社マックス 072-994-5050	株式会社マックス 072-994-5045